



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場会社名 株式会社カネカ 上場取引所 東・大・名
 コード番号 4118 URL <http://www.kaneka.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅原 公一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 石原 忍 (TEL) (06) 6226-5169
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	233,760	△0.5	7,407	15.0	6,784	17.5	3,534	24.4
24年3月期第2四半期	234,848	4.7	6,438	△38.4	5,776	△46.5	2,842	△54.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △1,037百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △2,823百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	10	49	10	48
24年3月期第2四半期	8	39	8	38

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	456,106		253,707		53.5	
24年3月期	467,082		257,460		53.0	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 243,963百万円 24年3月期 247,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00	
25年3月期	—	8.00				
25年3月期(予想)			—	8.00	16.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	500,000	6.5	20,000	52.1	18,500	46.2	10,000	85.1	29	68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	350,000,000株	24年3月期	350,000,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	13,042,895株	24年3月期	13,049,811株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	336,952,876株	24年3月期2Q	338,938,626株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、平成24年11月8日にて、機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を電話にて開催する予定です。
- ・決算説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。
(当社ホームページ)
<http://www.kaneka.co.jp/finance>

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 11
(5) セグメント情報等	P. 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)の業績は、売上高は233,760百万円(前年同四半期連結累計期間(以下、前年同四半期)比0.5%減)と前年同四半期と比較して減収となりましたが、営業利益は7,407百万円(前年同四半期比15.0%増)、経常利益は6,784百万円(前年同四半期比17.5%増)、四半期純利益は3,534百万円(前年同四半期比24.4%増)と増益となりました。

セグメント別では、前年同四半期と比較して、化成製品事業、発泡樹脂製品事業、エレクトロニクス事業、合成繊維、その他事業は増収となりましたが、機能性樹脂事業、食品事業、ライフサイエンス事業は減収となりました。営業利益は、機能性樹脂事業、食品事業は減益となりましたが、化成製品事業、発泡樹脂製品事業、ライフサイエンス事業、合成繊維、その他事業は増益となり、エレクトロニクス事業は損失が縮小しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①化成製品事業

塩化ビニール樹脂は、国内需要が低調に推移しました。塩ビ系特殊樹脂は、国内市場・海外市場ともに販売数量が増加しました。か性ソーダは、国内市況が堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は46,921百万円と前年同四半期と比べ1,026百万円(2.2%増)の増収となり、営業利益は2,167百万円と前年同四半期と比べ893百万円(70.1%増)の増益となりました。

②機能性樹脂事業

モディファイヤーは、製品差別化力の向上、コストダウンなどの収益体質強化に注力しましたが、国内及び海外市場の需要低迷の影響を強く受け、販売数量は低調に推移しました。変成シリコーンポリマーは、国内向けの販売数量が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は35,454百万円と前年同四半期と比べ2,118百万円(5.6%減)の減収となり、営業利益は3,151百万円と前年同四半期と比べ651百万円(17.1%減)の減益となりました。

③発泡樹脂製品事業

発泡スチレン樹脂、押出發泡ポリスチレンボードは、販売数量が前年同四半期を下回りました。ビーズ法発泡ポリオレフィン、東日本大震災やタイの洪水災害によって停滞したサプライチェーンの回復などを背景に販売数量が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は29,046百万円と前年同四半期と比べ312百万円(1.1%増)の増収となり、営業利益は2,157百万円と前年同四半期と比べ260百万円(13.7%増)の増益となりました。

④食品事業

食品は、低価格品志向が一層強まるなかで、新製品の拡販やコストダウンに注力したものの、販売数量が低調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は63,263百万円と前年同四半期と比べ1,232百万円(1.9%減)の減収となり、営業利益は2,208百万円と前年同四半期と比べ299百万円(12.0%減)の減益となりました。

⑤ライフサイエンス事業

医療機器は、インターベンション事業が公定価格の引下げの影響を受けました。医薬バルク・中間体は、販売数量が低調に推移しましたが、機能性食品素材は販売数量が前年同四半期を上回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は22,104百万円と前年同四半期と比べ1,185百万円(5.1%減)の減収となりましたが、営業利益は3,948百万円と前年同四半期と比べ79百万円(2.0%増)の増益となりました。

⑥エレクトロニクス事業

超耐熱性ポリイミドフィルム、光学材料は、エレクトロニクス製品市場の需要の拡大と新規案件の採用などにより販売数量が前年同四半期を上回りました。太陽電池は、国内市場向けの拡販と徹底したコストダウンに注力しました。太陽電池関連部材は販売数量が低調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は20,189百万円と前年同四半期と比べ802百万円(4.1%増)の増収となり、営業損失は1,689百万円と前年同四半期に比べ損失が縮小しました。

⑦合成繊維、その他事業

合成繊維は、高付加価値品の拡販、販売価格の修正やコストダウンなどの収益改善策に注力しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は16,780百万円と前年同四半期と比べ1,306百万円(8.4%増)の増収となり、営業利益は2,565百万円と前年同四半期と比べ1,909百万円(290.8%増)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10,976百万円減の456,106百万円、有利子負債残高は、1,630百万円増の76,309百万円となりました。また、純資産は、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の減少等により3,753百万円減の253,707百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等により13,875百万円となりました。投資活動による資金の支出は、有形固定資産の取得による支出等により17,036百万円、財務活動による資金の支出は、配当金の支払額等により641百万円となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、23,323百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、欧州経済低迷の長期化、中国・インドなどアジア諸国の成長ペース鈍化など、全体として減速の動きが広がっております。

わが国経済は、震災復興需要などを背景として緩やかな回復基調にありましたが、円高、原燃料価格の上昇、日中関係の悪化など不安定要素を多く抱え、先行きに対する不透明感が強い情勢となっております。

このような厳しい経済環境の中、当社グループは、重点戦略分野への事業展開を進め、新規事業の創出、グローバル展開やアライアンスの強化等により、事業構造の変革を推進してまいります。また、既存事業での販売数量増大のための施策や、生産から販売まで含めたトータルコスト低減に向けた技術開発や業務革新をグループ一体となって進め、収益力強化に徹底して取り組んでまいります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,309	23,458
受取手形及び売掛金	118,367	112,294
有価証券	322	322
商品及び製品	44,225	46,474
仕掛品	8,823	8,716
原材料及び貯蔵品	23,753	23,463
その他	13,389	12,886
貸倒引当金	△164	△126
流動資産合計	236,027	227,490
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	52,173	52,587
機械装置及び運搬具(純額)	62,739	61,336
その他(純額)	49,524	49,348
有形固定資産合計	164,437	163,272
無形固定資産		
のれん	3,935	3,480
その他	3,035	3,762
無形固定資産合計	6,970	7,243
投資その他の資産		
投資有価証券	41,658	38,196
その他	18,514	20,393
貸倒引当金	△527	△488
投資その他の資産合計	59,646	58,100
固定資産合計	231,054	228,616
資産合計	467,082	456,106

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	64,444	60,345
短期借入金	37,061	33,017
未払法人税等	2,834	2,210
引当金	710	38
その他	40,820	37,430
流動負債合計	145,871	133,041
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	24,151	29,903
退職給付引当金	19,008	19,201
引当金	336	299
負ののれん	430	326
その他	4,822	4,626
固定負債合計	63,750	69,357
負債合計	209,621	202,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	34,836	34,836
利益剰余金	197,372	198,236
自己株式	△10,552	△10,545
株主資本合計	254,703	255,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,664	2,401
為替換算調整勘定	△11,841	△14,012
その他の包括利益累計額合計	△7,176	△11,611
新株予約権	137	159
少数株主持分	9,796	9,584
純資産合計	257,460	253,707
負債純資産合計	467,082	456,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	234,848	233,760
売上原価	179,795	176,792
売上総利益	55,053	56,967
販売費及び一般管理費	48,614	49,560
営業利益	6,438	7,407
営業外収益		
受取配当金	651	624
為替差益	—	256
持分法による投資利益	183	—
その他	574	457
営業外収益合計	1,410	1,338
営業外費用		
支払利息	449	435
固定資産除却損	512	509
為替差損	91	—
持分法による投資損失	—	41
その他	1,019	974
営業外費用合計	2,072	1,961
経常利益	5,776	6,784
特別利益		
投資有価証券売却益	—	277
特別利益合計	—	277
特別損失		
固定資産売却損	243	—
支払補償費	—	796
訴訟関連費用	—	345
特別損失合計	243	1,141
税金等調整前四半期純利益	5,533	5,921
法人税、住民税及び事業税	2,412	1,425
法人税等調整額	3	942
法人税等合計	2,415	2,367
少数株主損益調整前四半期純利益	3,117	3,553
少数株主利益	275	18
四半期純利益	2,842	3,534

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,117	3,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,477	△2,272
為替換算調整勘定	△3,460	△2,313
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△4
その他の包括利益合計	△5,941	△4,590
四半期包括利益	△2,823	△1,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,890	△900
少数株主に係る四半期包括利益	66	△137

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,533	5,921
減価償却費	14,047	13,402
退職給付引当金の増減額(△は減少)	113	231
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△164	△73
受取利息及び受取配当金	△709	△666
支払利息	449	435
持分法による投資損益(△は益)	△183	41
固定資産処分損益(△は益)	620	239
売上債権の増減額(△は増加)	△3,884	5,316
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,905	△2,621
仕入債務の増減額(△は減少)	△521	△3,785
その他	△687	△2,750
小計	6,707	15,690
利息及び配当金の受取額	740	684
利息の支払額	△453	△435
法人税等の支払額	△4,160	△2,063
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,833	13,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,635	△15,840
有形固定資産の売却による収入	849	—
無形固定資産の取得による支出	△1,176	△1,098
投資有価証券の取得による支出	△129	△74
投資有価証券の売却による収入	528	338
関係会社株式の取得による支出	△928	△7
関係会社株式の売却による収入	98	—
貸付けによる支出	△50	△1,056
貸付金の回収による収入	158	912
その他	△142	△210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,428	△17,036

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,325	1,516
長期借入れによる収入	2,066	6,826
長期借入金の返済による支出	△782	△6,017
社債の償還による支出	△5,149	—
リース債務の返済による支出	△210	△211
配当金の支払額	△2,711	△2,695
少数株主への配当金の支払額	△77	△56
自己株式の取得による支出	△8	△2
自己株式の売却による収入	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,547	△641
現金及び現金同等物に係る換算差額	514	△214
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,627	△4,016
現金及び現金同等物の期首残高	36,978	27,157
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	182
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,350	23,323

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額	合計
	化成品	機能性樹脂	発泡樹脂製品	食品	ライフサイエンス	エレクトロニクス	合成繊維、その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	45,895	37,572	28,734	64,495	23,289	19,387	15,474	234,848	—	234,848
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,185	295	100	0	8	692	779	3,062	△3,062	—
計	47,081	37,867	28,834	64,496	23,298	20,079	16,253	237,910	△3,062	234,848
セグメント利益又は損失(△)	1,274	3,802	1,897	2,508	3,869	△1,720	656	12,288	△5,850	6,438

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,288
セグメント間取引消去	△3
全社費用(注)	△5,831
その他の調整額	△14
四半期連結損益計算書の営業利益	6,438

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額	合計
	化成品	機能性樹脂	発泡樹脂製品	食品	ライフサイエンス	エレクトロニクス	合成繊維、その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	46,921	35,454	29,046	63,263	22,104	20,189	16,780	233,760	—	233,760
セグメント間の内部売上高又は振替高	658	290	66	0	5	376	792	2,188	△2,188	—
計	47,580	35,744	29,113	63,263	22,109	20,565	17,572	235,949	△2,188	233,760
セグメント利益又は損失(△)	2,167	3,151	2,157	2,208	3,948	△1,689	2,565	14,510	△7,103	7,407

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,510
セグメント間取引消去	△26
全社費用(注)	△7,054
その他の調整額	△21
四半期連結損益計算書の営業利益	7,407

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、研究開発体制の一部を見直し、従来「エレクトロニクス」事業に区分しておりました研究開発費の一部を基礎的研究開発費として全社費用に含めております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。